



内宮 提供 神宮司庁

な か い ま

◆過去(祖先)・現在(中今)・未来(子孫)と
伝統を受け継ぎ、未来を創造するために、
今を強く正しく美しく生きる心

お伊勢様と氏神様の御神札を
おまつりしましょう

祈 復興 心ひとつに

人生の節目には神社でお祓はらいを受けましょう

健康長寿祈願(年祝い)

※地域により違いがありますので、
詳しくは最寄りの神社にお問い合わせください。

古稀	七十歳	昭和二十一年生まれ
喜寿	七十七歳	昭和十四年生まれ
傘寿	八十歳	昭和十一年生まれ
米寿	八十八歳	昭和三年生まれ
卒寿	九十歳	昭和元年生まれ
白寿	九十九歳	大正六年生まれ
上寿	百歳	大正五年生まれ

厄 祓

【還暦】

男女	六十一歳	昭和三十年生まれ
----	------	----------

※各年齢の前後が前厄・後厄となります。

【厄歳】

女	十九歳	平成九年生まれ
男	二十五歳	平成三年生まれ
女	三十三歳	昭和五十八年生まれ
女	三十七歳	昭和五十四年生まれ
男	四十二歳	昭和四十九年生まれ

七五三

男女	三歳	平成二十五年生まれ
男	五歳	平成二十三年生まれ
女	七歳	平成二十一年生まれ

初 宮

男女 生後百日

平成二十七年(年齢数元年)
人生儀礼年表



お伊勢さまと氏神さまの御神札をおまつりしよう

お伊勢さま(天照皇大神宮)は、日本の総氏神さま、皇室の御祖神として親しまれています。

家内安全などを願い、朝夕にお参りしましょう。

家族に不幸があった場合、御神札のおまつりはどうするのでしょうか？

ご家族が亡くなってお葬式を出した場合、忌中の期間は、神棚に白い紙を貼ってお参りやお供えを遠慮します。忌みが明けたら白い紙をはずして、いつも通りおまつりしましょう。

忌中は一番長い父母・配偶者・子の場合で五十日です。

五十日が済んだら通常通り御神札をおまつりしましょう。

忌みが明けた後も慎んで暮らす期間が喪中で、年賀状やお祝い事を遠慮するように、お正月の特別な飾りは遠慮しますが、忌中が終われば普通の生活に戻るように、神棚も通常のおまつりは行います。

喪中であっても五十日の忌中が明ければ受けて頂いて構いません。まだ忌中の場合でも御神札を受けて半紙などに包んで大切に保管し、忌み明け後に取り替えるようにします。

親戚が亡くなった場合は、お葬式を出した家でなければ、通常のおまつりを行って構いませんし、御神札も受けることができます。

古神札焼納祭について

古神札焼納祭は「どんど焼き」とも呼ばれ、神社からの授与品を御神火によって焼納し、無病息災などを祈る神事のことです。一年間御守護いただいた御神札・御守などをお持ちになり、感謝の気持ちを添えて神社にお納めください。

※なお、日程については地域により異なりますので、予めお近くの神社にお問い合わせください。

お納めできるもの

- 御神札 ●御神矢 ●おみくじ
- 御守 ●注連縄 ●松飾り

お納めできないもの

- 人形類 ●仏具 ●年賀状
- 不燃物 ●写真 ●みかん
- 鏡餅 ●日用雑貨

上記以外のものは、最寄りの神社にお問い合わせください。
鏡餅は家庭でお召し上がりください。

すべての道は「自然」から

どんど焼きは信仰に基づいた我が国の伝統行事です。
これを私達の子供たちに正しく継承していくこと、今を生きる私達が自然に無理をかけないよう、ご協力ください。

古神札焼納祭には、神事と関係のない日用品などを持ち込まず、自然環境を守るためにも、右記のことにご協力ください。
どうぞ、感謝を込めたおごそかな神事で、清々しい良き一年といたしましょう。

